



二 復修券二八條

昭和二十二年四月十日

海軍省艦務二課長向 艦務部長

各地方復修券の送附部長殿

物件移付に要す物件 題名

萬仙山運送役部 是地物件 是地と九州海運局
に移付す物件に在りし 九州海運局 不能入國船

監視部 仙山支神 業務班長より在記及案の題名
かあるが 該案の補給用紙系 片用示列 及び特除
物件 非特除物件別 題名に 移付に 對す意見

題名 承知 あり

記

一通 信長公 答状

送修券二基

各復修券二基

其他物件

K

復 員 廳

1417

...		
B C A	C	B A 名 線	'	被 銀 線 (甲)	二 部 外 部 銀 油	小 高 車	烟 松 橋 乙	橋 乙 甲	長 橋 乙	枕 乙	木 名 度 量	長 年 乙
			一 二 粒	一 六 粒								
七 〇 〇 米	一 〇 〇 米	三 〇 〇 米	一 五 〇 米	一 〇 〇 米	一 〇 〇 米	二 五	二 〇	二 〇	四	一	一 〇	二 〇
						...						

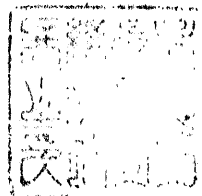
復
員
廳

吳復第五六九號

昭和二十二年十月九日

復員廳第二復員局總務部長殿

吳地方復員局總務部長



物品移管に關する件回答

四月十日附二復總第一一八號により御照會の齋仙崎運輸部基地物件（別紙記載）は現在九州海運局佃崎出張所に保管を依託して居りますが當局としては速かに海運局に移管を適當と認めるので同分の指示を付戻し

（別紙添）

（終）

下野新報

昭和二十二年十月八日

物件處理委員會委員報告書

物件處理委員會報告書

物件處理案の件照會

首題別紙の通り立案したから来る十日迄に御研究しおかれたい
為て會議は来る十日日一三三〇開催の豫定である

別紙添一

入封

1425

車輛及器械

一、工作機械

岐陽造船所

二、潜水器

西日本海軍 只熊谷班

三、トラス

岐陽造船所

下 掃

宛 二復線、各復線

通海 各試基、各試、二復各部長、二復掃、下掃、掃監

ムナ三六コ一、〇ト一ニ

發 掃監長

今般東京及吉見ニ於ケル會談ニ於テ「カールソン」中佐ヨリ左ノ通口答
指令アリキ。

一、掃海作業

ニ復トシテノ掃海作業ハ昭和二十三年一月一日以降ハ實施セズ

三、掃海船艇關係

(1) 下掃艦艇六隻ハ復在新ノ艦十月三十日迄ニ紀伊田島基地ニ歸航ス

(2) 右艦艇ハ十月下旬乘員ト共ニ進輪省ニ移管十一月初旬米海軍九六、

六部隊指揮員「モートルトン」少佐ノ指揮下ニ入り並ニ掃海用敵

艦艇ニ沈船機掃海作業ニ従事スル線定本件ニ關シテハ此後「〇・N」

「〇・E」ヨリ指令アル筈

丙) 右以外艦艇一一隻、哨艇一三隻計二四隻ハト掃船二水道ノ磁氣掃海
 終了後佐世深ニ回航シ左島リ米側ノ保管トナル隊定
 丁) 東亞丸ハ直ニ隊定ノ除籍準備以上事作業ニ着手ス除籍ノ期日ハ退テ
 令ス

丙) 若草丸ハ隊定ヲ除籍ス
 丙) 榮昌丸、榮榮丸ハ現在隊定サレタル試航作業ヲ繼續ス十二月初旬乗
 員ト共ニ運輸省ニ修習スル隊定本件ニ關シテハ改メテ「O・N・P
 E」ヨリ指令アル旨

丁) 右以外ノ船艇ハ夫々任務終了次第除籍ス
 三) 要員關係

イ) 陸上關係員

掃海關係各部各課各基地ハ一月一日迄ニ閉鎖シ同期日迄ニ解員ス
 但シ殘務處理要員ニ關シテハ未定

ロ) 海上關係員

一) 運輸省ニ修習スベキ艇長六隻及試航船二隻ノ乗員ハ修習ノ日附
 ヲ以テ解員ノ上運輸省ニ轉入ス
 二) 右以外ノ船艇乗員ハ一月一日迄ニ解員ス

四 從來佐世保ニ於テ掃蕪ノ撥置セル事務ハ對米納係モ含ム一及東京ニ於ケルニ復掃海操關係事務ハ十二月初旬夫々佐世保東京ニ於ケル運輸省代表機關ニ繼承シ得ル如ク準備ヲ進ムルモノトス

五 掃海要具物件納係

百見及紀伊田良基地ニ在ル掃海要具ノ一部ハ夫々佐世保及横須賀ニ移シ米側保管ス詳細ニ備シテハ佐世保ニ於テ指令ス

六 掃海關係各施設ハ閉關ノ際大藏省ニ移管ス

發 下 滯

宛 二復總

通報 二復各部長、二復滯、滯監長

々ナ三七コ一、三五ヒ一ニ

發 滯監長

下滯々ナ三六八十二日一前選

下脚ニ於ケル米側トノ會談ニ於テ滯海關係運輸省移管（事務引繼ヲ含ム）

ニ關シ之ガ圓滑ヲ期スル爲メ接衝セルモ一月一日ニ復解体ノ根本方針

ニ副フ爲ニハヒムヲ待サル指直トシテ内定セルモノニ付運輸省ト連絡ノ

上善慮方取計ハレ度

事務引繼ニ關シテハ

安藝、難南航路及下脚第二水道ノ試航作業ハ榮昌丸及榮榮丸ヲ以テ豫定

通賣船シ石賣船中八十二月初旬一滯監事務（對米接衝ヲ含ム）ヲ在佐

世保運輸省代表機關ニ引繼ク

三前號ノ佐世保ニ於ケル事務引繼ギト併行シテ二復滯ノ事務ハ之ヲ運輸

省ニ引繼ク向近ク運輸省ニ移管サルル關係大變（ロト）ニ變ニ對スル

修理補給並ニ石乘員ニ對スル身分給與等ノ問題ニ就シ馬ニ運輸省ノ受
込庶務ヲ整ヘ切換ヘニ遺憾ナカラシムル如クセラレ度

（終）

發 下 掃
死 與復總、二復總
通掃 掃旅長、二復掃、下掃

々十三八コー、四五七、二

發 掃旅長

下掃々十三六(十二日) 掃一

斷特六隻掃物件ニ就シテハ本圖ヨリ左ノ通指令アリタリ(各艇共一)

一、油 油載

二、普通掃海具(三式ヨリ似)ヲ除キタルモノ一ニ瓶

三、設備材料一〇組分

(終)

調査司一発第一五一七号

昭和二十二年九月二十日

寫

各都道府縣知事殿 内務省調査司長

昭和二十二年八月十五日附調査司一発第一二〇六号指定生
産資料規則の施行に伴ふ特殊物件原資料の取
扱に及する件 通牒との関係において昭和二十二年五月
十五日附調査司一発第六六八号の首題件名通牒を
全部丸の通り傍らに添付し、此の旨を貴府に遺憾なき
と期せらるる旨
尚本件については、内務省定安本部、高等省、運輸省

七 協 議 協 定 につ き 申 込 子

一 第 一 種 需 品 記

（一）種需品（材機長を統の需品及の無線機等類を除く）（旧海軍の兵器中直接戦斗に使用される兵器等は台の取扱を慎重にし調達を容易にする為兵器はと呼稱しんそのであつて眼鏡類時計類甚電機地方後多の長は後要聽總裁の承認を得て都道府知事ニルを保存料控する。都道府知事は其の品目及の数量を内務省調査の長に報告する調査の長はその処理方法を決定し（地方知事運輸省海運総局に存託機）を決定し（地方知事運輸省海運公運）拂下げ等器知事妻等会に拂下げ等

都道府縣知事に連絡する。代金納入者知事は都道府
縣知事に連絡する。

二、第一種席品

(新設席品) である。紙

釣糸、釣床、蛇籠、帆布、日杵、文、タイプライター、裁縫

機、自転車類、石炭、食糧、敷設、ある。

地方復元局長は、都道府縣知事は、

都道府縣知事に連絡する。

都道府縣知事は、

調査の長は、

調査の長は、

調査の長は、

調査の長は、

三、聽くおいて考へりする

（新調物造修用としての規格材であつて銀板銀

棒、銀板、非鉄金属類等である）

地方復原局長は復原費概算額の承認を促して都道府

知事へ之を併用轉換する。都道府知事は之を

於格公連へ拂下げ、その品目及び数量を内務省調

査局長に報告する。此の場合、拂下げの物件の指定生

産者我々であるときは、運輸省海運総局又は地方海運

局の於格公連の引取数量を確定の上、格公連に

対して指定生産者、枚割当規則を基く取書等を都

道府知事へ提出し、格公連は右取書を都

道府知事へ提出し、格公連は右取書を都

代金の納入告知書は都道府県庁に提出する。

四、衣糧類（衣服及糧食）

地方復興局長は復興廳總裁の承認を経て都道府県知事と之を併命督促する。都道府県知事は直ぐその品目及の数量を内務省調査局長に報告する。調査局長は又関係者と協議の上その知照方法を決定し都道府県知事に連絡する。代金の納入告知書は都道府県庁に提出する。

五、謝金品等その他

（利誘子等の事務用品、その他大部分の施設につき物の雑品の類である。）

地方復興局長は復興廳總裁の承認を経て都道府県知事に提出し、これを得命督促する。都道府県知事は特

殊物件として、これと処理し、代金納入告知書は都道
 村務課事務廳において發行する。
 六、村長、支庁の第一種常任の掃揚員（鋸索等）
 地方復多高長は復多、廳總裁の承認を以て都道
 府縣知事へこれを保存付託する。都道府縣知事
 は、並にその品目及び数量を内務省調査部長に
 報告する。調査部長は、西工者と協議の上、其の知
 理方法（運搬、有由運送等）に付、付託、換、産、業、
 復興公事に拂下げ、被給公事に拂下げ等）を決
 定し、都道府縣知事に連絡する。代金の納入告知書
 は、都道府縣廳に於て發行する。
 七、無縁村民
 地方復多高長は復多、廳總裁の承認を以て都道

府將知事ハ此レモ併ハ時換スル。都道府縣知事は
直ニ此レモ通信省一被会計ハ併ハ時換スル。

以上各項目に亘リ物品の價運送ハ代金五納ハ告知書の
巻外(第七項及ハ号若知理委員会ハ拂下げ場
金と除ク)ハ都道府縣廳ハおきてけ子のであつて
下廻後ハ内務省調査の又は都道府縣廳ハ於
て拂下げも決定した時の公定価額も基準とす
るハ詳細ハ別途通牒スル。尚第七項ハ併ハ時
ハ特殊物件中途通信省一被会計ハ併ハ時換
スル通信若我と同族の價運送器とスルのである。

⑥

水船	水船	水船	水船	子子	子子
三二四九	二八二二	吳一水	三七七四	HR三四	一五二
五〇屯積	二五〇屯積	三〇屯積	五〇屯積	三〇	五〇
			六〇	石油	石油
			二一七	三〇	三〇
二二三	二七四	〇	二七四	六五	一五〇
港務部	港務部	吳工廠	港務部		
良態	良態	代用	良態	安修理	安修理
		吳工廠	吳工廠		
		全上	全上		

③

1442

⑤

八 八						運賃船 四二〇六
六 二九	HR 三三五 (アルミ)	HR 五〇〇	HR 四〇〇	HR 三〇〇	吳一運	
一 三五	五〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇	一五〇〇	二〇〇〇
十 九	鉄製	木製	木製	鉄製		
一 二〇						
一 七〇		八〇	二五〇	九〇	九〇	二〇〇
				吳港務部	吳港務部	吳港務部
九 船心	良態	良態	良態	良態	良態	良態
吉浦海運 出張所		玉環組	玉環組	吉浦海運	吉浦海運	玉環組
吉浦海運 出張所 精華産業						
吉浦海運		全上	全上	全上	全上	全上

七
七

	カ 米	小 米	大 米	大 米	大 米
HR 二三	HR 八	HR 六	一九 五	一八 五	一八 二
		四 〇	九 〇	九 〇	三 五
		石 油	石 油	石 油	石 油
		八 〇	八 〇	八 〇	八 〇
九 〇	九 〇	二 〇	一 四 〇	一 四 〇	一 四 〇
	新 造	榆	軍 需 部	軍 需 部	
良 態	良 態				
		音 戶 運 業 会	曾 本 水 産 外 運 輸 産 業	曾 本 水 産 外 運 輸 産 業	玉 環 組 精 米 産 業
		全 上	玉 環 組	精 米 産 業	玉 環 組

六米	敷船型	夕	糧食船	〃	通船	〃
カツ	一〇〇〇	四九六六	八九五	HR	HR	HR
	三〇〇〇	三八〇	二二〇	〇	九	三六
		石油	石油			
		工	八〇			
		八〇	一五〇	九〇	九〇	九〇
	佐伯	軍需部	軍需部		海軍	
	防備隊	良態	良態		良態	良態
操縦者	核用	曾本水産内外運輸産業	曾本水産内外運輸産業		出立	
	瀬戸内海汽船	音戸漁業会	音戸漁業会		海上	
	海上					

カ七の丸
九五
三〇
三〇
三〇
三〇

六 大 船	六 大 船	六 大 船	六 大 船	六 大 船	六 大 船
三〇	田				
三六分	三六分	三六分	三六分	三六分	三六分
瀬戸内海汽船	音浦海運瀬戸内海汽船				
全上	音浦海運				

				東組 (三二一〇)			
吉浦海輝 株式會社 (三二一〇)	糧食船(公林) 白丸(公林)	大芥(公林) 火芥	吉浦海輝 株式會社 (三二一〇)	水雷艇(HR二) 内火艇(HR七)	内火艇 内火艇	四〇 HR七	
吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	交通艇 (公林)	交通艇 (公林)	八〇 公林	
吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	二六〇 二三四	
吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	二六〇 二三四	
吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	二六〇 二三四	
吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	二六〇 二三四	
吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	二六〇 二三四	
吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	二六〇 二三四	
吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	吳一輝 (海運局)	二六〇 二三四	

此 宮南店	精 華産業		音 業 會	音 業 會			
自來船夏	小運搬船夏	冷凍船夏	漁船三五	糧倉船夏	榎橋一	運貨船 100T 200T	
水船 船	水船 船	水船 船	小舟	水上	水船	運貨船	運貨船
二四五	九五	三〇	四〇	二二〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇
五九五	四五	四五	HK六	八九五	HR五	HR六	HR四
						(運貨船)	

一部タイフ

徳山基地所雑役船処理方針表 呉復

船種	公称容量	噸数	格因	車リ	全長	現状	申請因体	希望拂下先
汽船	一〇三〇	一五〇	ビス	四〇〇	三六五	良態	出立興産 西日本海軍	西日本海軍
汽船	(三徳)	一〇〇	〃	二四〇	二二二	〃	出立興産 西日本海軍	出立興産
汽船	三四三	一〇〇	〃	〃	〃	老朽	東組	全上
核船	五九八	四〇〇	〃	二〇〇	三八〇	良態	能谷組	全上
汽船	一〇四	二六	ビス	二〇〇	一七〇	〃	西日本海軍 出立興産 能谷組	出立興産
水船	三五八	一五〇	〃	〃	二二〇	〃	大洋渡業	大洋渡業

呉復処理

呉復処理

海軍

(竹秀納)

長瀬 大塚 長瀬 大塚 長瀬 大塚

橋	通	カ	(ガ)	運	内
船	船	ワ	ル	賃	米
二	竹	キ	(マ)	三	船
隻	五	一	三	六	子
	四	一	五	積	明
	三				六
					石
					油
					六
					〇
					二
					〇
					良
					能
					心
					大
					洋
					漁
					業
					全
					上

海軍

(竹秀納)

金龜
北浦
文徳
漢准

十二月十五日除一稽

1454

1454-2

司令長官 司令官 參謀長 首席參謀 幕僚
 通信參謀 司令部附
 (司令長) 副長 電直將校 關係者
 通信部長 電信部 暗號部

海軍電報起案譯文用紙

10 月 14 日	受信時刻	19 47	作成時刻	20 30	作成者	署名	番號	定指	發送所	接收所	
							五二			下掃	
通信文 平文暗號 (無線有線)							所	處	信	受	
詳細書類後送 右知照ハノ取計ニシテ 名下関自働車工業株式会社 三隻申請人ノ表、岡山米造 十三日打合セ依ル雜船以上 通船以上							25	30	014		
署名 總務部長 吳煥							者	信	者		
署名 下掃							者	信	受		
署名 部長							分區	整理	者	信	發
署名 下掃											

整理番號 14 電波 6375 K.O.

1455

附表第一 (様式第二)

通信部長
電信部
電報部

艦長 (司令)
副長
營直將校
關係者

通信參謀
司令部附

司令長官
參謀長
首席參謀
幕僚

海軍電報起案譯文用紙

10 月	21 日	20 53	21 30	艦譯時刻 作成時刻 艦譯者 時久 記事	二関シテハ中央ノ指示ヲ待テレ度又 爲難船ノ配分処理(代員與テ合員) 管船事務ニ関シテ新事態發生ニシテ 艦長(司令)ノ指示ヲ待テレ度又	番號	定指	艦發所	艦受所
						七	少	中	後
					通信文	所	艦	信	受
					平文暗號	215/1935			
					無線有線	著	信	著	
						著	報	受	
						復			復
					整理番號	電波	K. C.		

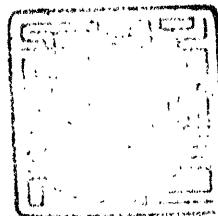
附表第一 (様式第二)

1456

吳復第六〇〇號

昭和二十二年十月二十二日

吳地方復興局長



備
吳管船部に於て備入中の機帆船春日丸は昭和二十二年十月三十一日附解
(終)

1457

物件拂下申請者調

(三三、一〇、一五)

呉地方復員局

申請団体名	所在地	代表者	事業内容
黎明會	桑本通二丁目七	三宅清兵衛	引揚戦死者遺族其の他生活困窮者の救済 援護並に指導
精華産業株式会社	廣島縣賀茂郡竹原町	前村光雄	電氣炉、洗粉製造、製氷冷凍を實施して復員者 遺家族の全般的救済策を講じ、十月發足の予定
伯南生産協同組合	廣島縣佐伯郡大竹町	椎塚三夫	鐵工業、印刷、漢業生運運搬
海風水産工業株式会社	吳市海岸通三丁目	長井満	漁撈水産加工、精製製造、復員海外引揚者主体 遊休施設、機械の活用及廢材の利用と相俟て、製紙 と與に供給に貢獻すると共に復員、引揚、戦災者の援護 に微力捧ぐ、本年中に發足の予定
有限會社 安藝製紙工業所	廣島縣佐伯郡大野村三六	山田鐵藏	吳地方在住の戦死者遺家族の援護扶助を念願し、設立 遺族に對する救済救護並に遺児育英保護に關する諸 種の事業
白菊會	廣町二七八三	菅原 勲	復員軍人、復生團體として設立、百數十名の 同志と共に家庭用品(鍋釜類)製作及苴板作業 實施
手力産業協社	廣町長浜	洪本義郎	自動車修理部品製作、販賣、漁撈並に水産物 加工、復員者約一五〇名
大洋商事 澤自動車株式会社	鳥取市吉方	黒島 龜人	遺家族戦災者引揚者其の他一般學識者等 の援護事業、授産(下駄鼻緒を製作)
同 仁 社	吳市吉浦本町三丁目九	勝田友彦	洋裁、家事、筆道、茶道、書道、及英語教授、附屬施設 として救済部を設け、遺家族海外引揚者等の援 護をなす
吳女子文化學院	吳市藏本通三丁目		

吳新生木工組合	吳市 西三河通三丁目	宮本常吉	土木建築製材家具建具製造海軍關係の 解員者として組織す
松田元心一合資會社	吳市下山手町	松田弘	海難救助並に之に附帯する事業魚介類海 藻類に於ける食品塗肥料生産役員従業員 構成は全部復員軍人軍属
株式會社四國食品興業	香川縣 丸龜市中前五五	志村末礎男	海軍復員軍人主として食料品の製造販賣
日新建設有限會社	吳市 岩方通十三丁目	長谷川英雄	土木建築業
電興社吳營業所	吳市 翠町二番地	諸富有海	電氣工事及電線有無線通信工事に従事 復員軍人と採用して吳地區の復興工事に努力中
通津興産工業株式會社	山口縣玖珂郡 通津村字長野	坂本文一	陸海軍復員者主として 代用鋸油農機具製作石灰焼成
廣共濟病院	吳市廣町		
吳縣一中	吳市下山手町	小林兵一	
多胡組	吳市 上畑町六〇番地	多胡憲治	土建請買業
帝國水難救濟會吳支部	吳市 東愛宕町三一	鈴木莊	
阪田蓄産株式會社	安藝郡 大屋村五七六	阪田啓次郎	養兔、豚、雞、鶯、菫栽培
牟禮名産工業所	香川縣 木田郡牟禮村	小比賀正義	漁撈、水産物加工、漬物製造
東組	宇部市 西區朝日町	東長丸	海陸輸送港灣關係諸事業酸素製造販賣アルミニウム 並飲工業海軍復員者の就職並生活保障を目標とす
橫濱工作所	吳市 東三津田町一五	小岩建	元士官六下士官兵士名として電氣關係事業實施

愛媛縣海外引揚者更生會 上分支部	愛媛縣宇摩郡 上分町 六四八	秋山元吉	外地引揚同胞救護の爲協同宿所設置
青木製作所	吳市 吳田町十一丁目	青木豊三郎	鐵工業
大西快治	吳市 梅之木町四二		内海西部(別府-廣島)に於て海運業を實施
安藝藝土木工業	廣島縣 賀茂郡竹原町	荻山修	土木、建築、請負業を復興引揚被災者と協力の下に實施
占部造船株式會社	廣島縣 御調郡田熊村	占部五郎	造船、船舶修理、鐵工業
吳第一食糧品株式會社	吳市 海岸通	勝田友彦	其地區船舶業有向食糧配給會社、指定此別に被災家族を主体とする直營販賣所の新設し復舊事業に微力を捧ぐ
日本食産組合西日本支部	吳市 吉浦町	黒島龜人	パンテリヤ肥培法に依る食糧増産及パンテリヤ加工に依り食糧問題之急定解決を目的を以て組織
兒玉石鹼製造所	吳市 海岸通五丁目	兒玉好助	給戰後石鹼製造工場を開業(元金谷石鹼技術員)
廣菱運輸株式會社	吳市 本通八丁目	友保廣之助	海陸輸送特務供給船舶及保險代理倉庫稅關貨物取扱組及船体並貨物海洋輸送請負業
共同印刷工業株式會社	吳市 本通九丁目	助宮忠夫	社長を初め復興者及遺家族を以て従業員の大多数を占め従業員三十名中復興者十名、遺家族七名印刷業實施
金谷石鹼製造所	吳市 塚川通二丁目	金谷俊次	旧海軍御用商人
松山鐵工株式會社	松山市 奇貨町	上田博	丸善石油株式會社松山及下津製油所は給戰と共に建設工事中止せられたるを以て之が工場設備人員を譲り受け鐵工業家具建具農器具製造
若草産業工業藝社	吳市 荒神町	橋本象造	家具建具製作(徳島不實施)
大洋漁業株式會社	下關市 宇竹崎町	中兼市	漁撈水産物加工

興和産業株式會社	昭和漁業株式會社	隆西建築工業株式會社	筒井 武	藝備倉庫株式會社	東亞産業株式會社	海國 公 司	末廣土木建築株式會社	家庭工業 社	井上産業株式會社	曾本水産興業株式會社	日産サルベージ株式會社	村井製氷冷凍産業會社	興國産業焼津疎開	小島工業 所
吳市澤通三丁目	燒津町城之腰	南高岸町三	吳市東鹿田町	廣島縣 賀茂郡 西條町	廣島市大芝	山口縣 大島郡小松町	吳市廣町	松江市 天神町天満宮前	吳市本通十三丁目	廣島市宇品町	吳市海岸通五丁目	徳山市 大字柳ヶ浜	靜岡縣 志太郡 燒津町	廣島縣 依伯郡大神町大君
中石壽一	服部 龜吉	山澄 忠三郎		古川 史 郎	岡本 興 茂一	中島 新太郎	野田 繁 雄	石橋 悟	井原 一	鈴川 貫一	神田 重三郎	村井 醇 節	村松 正之助	
漁業海陸輸送造船業を開始すべく準備中 (三月現在)代表者は元海軍囑託	明治甲午海軍徴備全所有船の七割を喪失す(現復修中) 有船陸海軍徴備全所有船の七割を喪失す(現復修中)	土木、建築、賠償機械撤去工事	元水友社特約洋服店 ケンバスに依るランドセル、鞆、筆入れ製作(陸軍専用)	復員引揚者と収炭酸カルシウム肥料と製造 業賣を擁し倉庫業と経営	復員引揚者と収炭酸カルシウム肥料と製造	海軍復員者及大島商船学校出身者中理下失業 中の有為なる人材と主体として結成(海運交易を行小)	土木、建築、陸運、海運	引揚被災復員者の生活厚生を主眼營業種目各種設計見積 建築製作修繕接金鑑給鑄掛洋和製電氣塗裝梱包運送)	車輪制輪子銚鎌板板鑄物算尺民需用品の生産 資本金五百万円	漁撈水産物加工作業	汽船廢理並引揚作業 竹掃閉廢後解廢者千數名を收容作業擴充の予定	設立準備中營業完成の上は地元の復員者よ 出來ぬだけ多敷受水	燒津町水産業者三名が昭和十六年六月廣島並水産加工 業の復修經營を爲すべく企業合同を以て設立せる	木造船主業

拓農聯合商店街商店組合	大陳市 阿部野區阿部	山本政治	飲食店組合、雜貨店組合、古物商組合を結成組合員 總數家族を除き約百名九〇%以上復員引揚者
味野高等女學校	因山	藤原吉衛	新教育制度に依り氣象關係技術員養成を 的とする上級中學を開設せんとす
臼杵鐵工所株式會社	大分縣北海部郡 臼杵町松園洲東一	吉松田守	鐵工造船部、漢業部に分ち海軍復員者を收 容斡旋しあり(三月現在四一名)
吳港運株式會社	吳市堺川道二丁目	熊生榮	港務、海運
廣瀨サトルヤ株式會社			沈船引揚
親共組	吳市本通土三丁目三	山下新太郎	主建、製材、海陸運輸、自廠内廢兵器處理、從事
吳纖維工業株式會社	吳市由愛宕町三丁目	勝浦定男	纖維製品の縫製加工
白鳥建具製作所	廣島市白鳥	鳴戸清甫	建具製作販賣
中國食料株式會社	吳市西河通三丁目	佐々木鹿藏	元大東亞食料興業株式會社廣島縣食糧營 園との合作会社諸食料品の製造
東縫洗工場	吳市西本通二丁目	東工明	洗濯、冷凍縫製、東食料加工所(關聯工場)にて 未利用資源に依る主補給食の製造、従業員 五十一名、中四十二名軍人軍屬遺家族、戰災 引揚者
出光興産株式會社長岳張所	今會社 吳市海津通二丁目	中野正廣	三才修造、販賣業印刷業を多岐、廢油集積及之を抽輸送
吳食品興業株式會社	吳市海津通二丁目	佐々木直	鮮菓漬物及佃煮類の製造(元海軍に納入しあり)
吉浦海運株式會社	吳市吉浦新町	前野種雄	
吳共濟病院	吳市		

古山木工所	古山長市	履物製造	山口縣 岩國市中津	古山長市	履物製造
果木材運輸株式會社倉庫店	岡村岩男	木材、鉄材等の輸送、木材、土管の賣買	廣島市	岡村岩男	木材、鉄材等の輸送、木材、土管の賣買
播磨吳船渠	神保敏男	造船、船舶修理、賠償機械撤去、船舶解体	吳市	神保敏男	造船、船舶修理、賠償機械撤去、船舶解体
永井義雄		自転車用タイヤ、チウブ焼付修理業(元海軍書記)	吳市上長道町八一		自転車用タイヤ、チウブ焼付修理業(元海軍書記)
廣島縣管 和田三良坂地區開拓事業所	早川健吉	引揚、被災復員者入植開拓事業		早川健吉	引揚、被災復員者入植開拓事業
花岡木工製作所		家具、建具製作	吳市 岩方通 上丁四一六		家具、建具製作
宇垣完雨		養豚、養鶏、養魚、養鹿、養馬、養兔、養鳥、養魚、養鹿、養馬、養兔、養鳥、養魚、養鹿、養馬、養兔、養鳥	岡山縣 赤磐郡鴻瀬村		養豚、養鶏、養魚、養鹿、養馬、養兔、養鳥
吳市聯合衛生組合	佐々木英夫	市の衛生行政の補助機關		佐々木英夫	市の衛生行政の補助機關
共榮會	落海保平	生活困窮者の爲に授産所託児所を設計將來への自立自営の礎地たらしめる	吳市民生委員	落海保平	生活困窮者の爲に授産所託児所を設計將來への自立自営の礎地たらしめる
帝國油糧株式會社倉庫店	井上正夫	精米、麥製粉業(元吳需第二課部員)	吳市海通三丁目	井上正夫	精米、麥製粉業(元吳需第二課部員)
藤井岩太			香川縣東能登町 綾歌郡栗原西五〇		
鳥取地方世話部	江島課長		鳥取	江島課長	
中黒瀬農事實行組合	岡田務	復興、被災引揚者六名在住	廣島縣 賀茂郡中黒瀬村	岡田務	復興、被災引揚者六名在住
伊豆水産株式會社倉庫店	眞山考也	本社東京丸の内、奥銀丸の内、府靜岡縣伊東町、銚田、復員者 と町及多量に収收し、漬物、水産物運搬	吳市海通三丁目	眞山考也	本社東京丸の内、奥銀丸の内、府靜岡縣伊東町、銚田、復員者 と町及多量に収收し、漬物、水産物運搬
芝野物産株式會社大竹出張所	橋口重次郎	旧海仁會業務を引受け續行	廣島縣 佐伯郡大竹町	橋口重次郎	旧海仁會業務を引受け續行

株式會社水産振興會	下関市竹崎町五番	木下辰雄	同下部施設と使用魚造製造及水産品加工場の経営
株式會社君島製作所	東京都江東區 深川五丁目二番六	君島武彦	電纜の解体電線の再生並同副産物の處理
三菱化成業株式會社大谷工場	廣島縣 佐伯郡小方村三番	岩波模一	人造纖維製造
新岡智	下関掃海部 要務班長		藻類の大量生産木材加工の生産を計画
三興産業有限會社	廣島市八丁堀 福屋ビル四階	柿木克己	社員及従業員は殆んど復員者メリヤス傘下製造 釣竿輸出鑄物引受業務九州に於て漁業其の他
廣島木工株式會社	廣島市檜町	木村左武朗	製材及家具製作同海軍經理部の専属工場
興和産業株式會社	吳市両城町	角貞明	造船鉄工業復員者有利なる條件にて受入
塩津組	吳市廣町	塩津忠夫	土運家建具製材鉄工造船業を經營し後産事 業と海外貿易発展の一微翼として商會の設立計画
高知地方世話部			
廣島縣廳	廣島市霞町		
廣島縣水産業會	廣島市霞町	林典一郎	
吳警察署	吳市		
吳郵便局	吳市	金澤球	
吳市立高等女學校	吳市	瀧口忍郎	
吳管財出張所	吳市		

廣島出張所	廣島市霞町	森村義信	
鐵工局貿易公園	廣島市霞町	森村義信	
山底ノ鼻燈台	下関市彦島宇田ノ首	石原靜雄	
運輸省燈台局			
内務省			
關門國道建設事務所			
辰川小學校	吳市	伊達玄一	
吳市保健課	吳市		
廣島通信局			
吳第一縣女	吳市	平田俊太郎	二十年の戦災で校舎校具殆どを失ふに歸す
吳商工會議所	吳市	増岡登作	
廣島地區 帆船船海運組合吳支部	吳市海岸通三丁目		
廣島鐵道局			災害事故復旧工事
廣島縣警察部			地方警察學校設立
山口縣水産業公大島支部	山口縣大島	竹浦雅一	
山口縣水産業會光支部	山口縣光市	江向淺平	
中國海運局徳山支局	山口縣徳山市		
在外同胞援護會赤出張所	廣島縣佐伯郡大竹町	勅使河原 要	
吳市立三河中學校	吳市	清水源太郎	

品名	数量	特種物件	同内外	計	要領	引渡先	記
海陸補給具	組		三八	三八		山口縣宇部市四所朝日山果組 代表者 東長丸	復員者ヲ以テ一サルヲ一ナシ 學業ヲ施行中ナリ
テール	個		不良	一		廣島市八丁橋 福屋ビル四階三軒屋 株式會社代表者 元少尉 柿不京巳	社員從業員ノ殆ンド全數ヲ 復員者ニシテ漁業經營中ナリ
(補助)							
(補助)							
轉換有線架			四〇	四〇			
張力計			一	一			
陸上存糧機	個		二六	二六			
發火機	個		一	一		吳市油津五丁目九八番地日清サ ルズエーソン株式會社代表者 山田 廣島縣佐伯市大野村安藤組工業 所代表者 元大佐 山田健一	復員者收谷中 谷中
電力計			一〇	一〇			

中央機關物件 (海陸要具) 一處埋案

吳地方復員局

中央處理物件(電線)處理案

吳地方復員局

品名	数量	要望引渡先	記
五式海軍用電線	米	山口縣宇部市西區朝日町一丁目 東組 代表者 東長丸	復員者ヲ以テコナルベシ事業ヲ執行 中ナリ
二号發火電線 (二五〇米ノ七一)	條	吳市海岸通五丁目九八 日産ノルハ一 株式會社中部支那 代表者 神田重三郎 吳市今西通十二日五番地 株式會社食糧研究所 代表者 野地壽郎	復員者多數收容中 遺家族ヲ主体トシテ留油製造其他食品 類ノ研究加工ヲ開始中
電線	米	松山市 松山鐵工株式會社 代表者 (元大佐) 上田 博 島取市 吉野町 澤島自動車株式會社 代表者 (元大佐) 沢本義郎	鐵工一般作業及家具建築ノ環境ニ從事中 復員者以テ收容中 従業員大半ハ復員者ニシテ東用車部品製造 作販賣 自動車修理旅客運送業ヲ營業 中
可撓電線	米	下関市 吉見町 水産振興會 代表者 (元大佐) 藏富一馬	田下附ノ一部施設ヲ使用 漢瑞水産加工ヲ開始中
電線	米	下関市 彦島本町 林業造船株式會社 代表者 中部利三郎	
被鉛線	1.2米	下関市 吉見町 岡山米三	下関施設一部ニ使用復員者ニ依ル會社(電氣) 小規模修繕施設)設立計畫中
電線	米	廣島鐵道局	

動力用電線	電線	動力用電線	高圧用三種 五股硬銅線 低圧用三種 三股硬銅線	電線	キヤブタイヤ	電線
五〇〇	四五〇	六〇〇	五〇〇	二〇〇	五	五〇〇
廣島銀行組合 代書者 岡田 芳	廣島市八幡町四階 三興産業株式会社 代書者 元村 不貞己	廣島市古島町五番地 廣島刑務所	廣島市古島町五番地 廣島刑務所	廣島市古島町五番地 廣島刑務所	廣島縣佐伯郡大柿町大居 合資会社 小島工業所	廣島鐵道局
復員者ト合同事業	社員従業員ノ殆んど全部ヲ復員者 ニシテ復業中	蓄電池修理業ヲ実施中			木造船業 復員者消管局轉 修理ニ従事	

中央處理物件(掃海特集)處理案

吳地方復員局

品名	株數	物件 全外	量	要望引渡先		取
				要望	引渡先	
漢海用掃海索 (木製手付)	株		100	廣島縣依田郡小方村二五〇 三菱化成工業株式會社大竹工場 代業者 岩波 藤一	人工織維製造業	
(一〇〇一三號)	株		100	吳市海濱通五丁目九八 日産十六ヶ分株式會社中部支店 代業者 神田重三郎	多數復員者ヲ收容中	
	株		100	山口縣大島郡小松町四〇四八 海國公司 代業者 中島新太郎	大島商船株式會社吳支店中島新太郎 海運業ヲ計劃中ナリ	
對稱式(豆掃海索) (十六號五〇米長)	株		100	吳市海濱通五丁目九八番地 日産十六ヶ分株式會社中部支店 代業者 神田重三郎	多數復員者ヲ收容中	
大掃海具掃海索	株		100	山口縣宇部市西區朝日町一丁目 代業者 長九	復員者ヲ以テコサルバトゾシ事業ヲ施行 中	
神海洋標洋標索	株		100	山口縣宇部市西區朝日町一丁目 代業者 長九	復員者ヲ以テコサルバトゾシ事業ヲ施行 中	

中央處理物件(ワイヤ)申請調書 吳地方復員局

要 望 數 量	申 請 者
三五枚前後(二〇米)六卷、二〇枚前後(一五米)五卷	廣島縣御調部四熊村 占部造船株式会社 田熊工場
多長寸(一)六枚 四、五〇〇米	松山市 松山練子株式会社 井田博
造船重量運搬用 一〇〇卷	廣島縣佐伯郡大府町大君 合資会社 小島工業所
一〇枚(五米)十卷(八枚(五米)十卷、一二枚(三〇米)十卷)	吳市海岸通五丁目九八番地 日産ヤルベージ株式会社中部支部
一五枚 三卷、二五枚 三卷、三二枚 三卷	山口縣宇部市西區朝日町二丁目 東組 東長丸
一二枚(一六枚) 三卷	吳市廣町一七九番地一 木廣土木建築株式会社
三介(四介) 二〇卷	山口縣 光市 山口縣水産業会 光支部
三介(五分) 二〇卷	山口縣 大留 山口縣水産業会大留支部
一二枚(二〇卷) 一〇枚 五卷	松江市 島根地方世話部
各種 五〇卷	吳市海岸通三丁目十五番地 興和産業株式会社
一〇枚(二〇〇米) 三卷	廣島縣安藝郡大庄村 阪田普産株式会社

件目

<p>三粒 (五〇米) 二〇卷 一〇粒 (五〇米) 五〇卷 五粒 (一〇〇米) 二〇卷</p>	<p>廣島縣佐伯郡小方村二二五 三菱化成株式會社 大井三郎</p>
<p>五分 六分 重量 一〇卷</p>	<p>吳市今出通四丁目四番地 出光興産株式會社吳出張所 吳市岩方通一丁目八番地 株式會社神岡鐵 増岡登作</p>
<p>本種 一〇卷 一二粒 一五卷 一〇粒 五卷</p>	<p>吳市岩方通十三丁目七番地 日新建設有限會社 長谷川英雄 吳市西城町一〇一 吳精華高等女學校</p>
<p>三分 五分 七分 五分 五分</p>	<p>吳市海岸通三丁目五六番地 吳市倉糧品株式會社 勝田友彦</p>